

第3回大月市教育委員会定例会 会議録

- ・ 開催日時 平成30年6月28日(木曜日)
午前10時00分から午前11時40分
- ・ 開催場所 市役所第2庁舎4階会議室
- ・ 出席委員 小泉克行教育長、中村順一郎教育長職務代理者、
藤本政一委員、天野ますか委員、野尻正人委員、
庄司有紀委員
- ・ 出席職員 井上教育次長、安藤学校教育課長、小林社会教育課長
蔦木学校づくり担当リーダー、土橋こどもの学び支援担当リ
ーダー、小林学校づくり担当
- ・ 傍聴人 な し

[会 議]

1 開会

【教育長開会宣言】

2 会議録の承認

職員が、平成30年度第2回定例会会議録を朗読し承認された。

3 教育委員会報告

教育長から、平成30年5月29日から平成30年6月28日までの教育委員会活動が報告された。

4 議 事

議案第9号 就学指定学校変更・区域外就学について

[説明] 土橋こどもの学び支援担当リーダー

(非公開)

【原案どおり決定】

議案第10号 平成29年度大月市教育委員会の教育行政点検・評価について

[説明] 安藤学校教育課長・小林社会教育課長

安藤学校教育課長

教育委員会教育行政点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、「教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表する」と定められています。いただいた意見に基づき修正案を出し、次回教育委員会にて最終審議をし、決定したいと思います。

評価はAからDの4段階で行っております。前年度と変更になっている評価項目を中心に説明をさせていただきます。「教育委員会及び教育機関の職員の任免その他の人事に関すること」をBからAに変更しました。昨年の評価シートには、平成29年4月人事異動に関する内申を実行した、退職教員の豊富な経験や知識を活用するため教育相談員や社会教育指導員に任命した、と記載されていますが、人事異動の内申に関することは県費負担の職員に関することだと思われるのでそれは削除しました。また、市担講師、給食センター賃金職員及び社会教育関係賃金職員については、ほぼ必要とする人員の確保ができた、を追加しました。「道徳・文化活動、読書活動等の推進」についてですがBからA評価にしました。これについては、平成28年度はやまびこ養護支援学校合同で音楽発表会ができなかったのですが、平成29年度は実施できたためです。次に、「閉校跡地の活用」ですが、CをB評価にしました。これについては、旧強瀬小学校で、改修工事を行い、教育支援センターとして使用が決定し、下和田小学校につきましては、売却をし、事務所、工場が完成しています。来月には、工場の竣工式を予定しています。現在、事務所は一部使用しており、地元の雇用があったり、社員寮のようにアパートを借りたり等の動きがあるようです。また、旧畑倉小学校ですが、まだ決定していませんが、地元企業の工場を誘致する話があります。このような経過がありますので平成28年度よりは、進んでいるためB評価としました。

小林社会教育課長

「指導者・団体・グループの育成」についてですが、ふるさと大月教育人材バンクを設置し、平成26年度から運用が開始されておりますが、平成29年度は利用がなかったためCとしました。ふるさと大月教育人材バンクは現在23名の登録者がおり、5つの分類に分れています。ホームページに活動内容が載っており、出張所にもチラシは置いてありますが、なかなか浸透していないようです。社会教育につきましては、各公民館及び分館を中心に各地区の特色を生かした地域づくり、人づくりを目標に各種学級、講座、イベント、運動などを実施しました。スポーツ振興については、各種スポーツ団体の支援を行い、学校開放事業の夜間照明や校庭、体育館の開放を市民の皆様に積極的に、利用していただくよう継続的に進めています。

中村教育長職務代理者

これは学校跡地の項目には入りませんが、浅利の教員住宅の活用を早めに考えていただきたいと思います。また、図書館が表彰を受けた時にBという評価は、世間がどう思うのでしょうか。

学生は、安ければ入りたいと思います。多少古くても極端に安くし、悪いところは徐々に修繕していけば良いと思います。数年前までは入居していたので、掃除すれば入れるところがあると思います。

安藤学校教育課長

浅利教員住宅は、ある程度のお金をかけ改修工事をしないと無理とのこと。特に、給排水管が老朽化しております。

天野委員

「教育委員会及び教育機関の職員の任免その他の人事に関する事」ですが、図書館は、現在一人傷病休暇をとっているため、正規職員が1名のようなのですが、どうなのかと思います。

小林社会教育課長

人事担当に相談しましたが、途中で正規職員を配置することは難しいので、今月の広報で賃金職員を募集しております。図書館からも、司書の資格をもっている正規の職員が必要と言われておりますので、人事担当と対応を考えております。

野尻委員

「施設の整備」については、予算があるので仕方ないと思います。

中村教育長職務代理

先日の南こうせつのコンサートですが、市民会館の館長が応募して当選し、実施出来ました。館長が、大変努力していてあのようなコンサートが出来ていることが市民の方には伝わっていないように思います。館長の努力をみなさんに伝えたいと思います。

小林社会教育課長

2月には、自衛隊の音楽隊のコンサートを予定しております。様々な企画に応募していますが応募数も多数あり、毎年実施出来るかどうかは難しいところです。中村職務代理者がいわれた図書館のことですが、評価をAかBか迷いましたが、表彰されたのが平成30年度のため、今回の平成29年度評価ではBとしました。

小泉教育長

委員の皆様、ご意見等ありましたら、7月17日（火）までに、それぞれの課長にご連絡をいただき、次回の教育委員会で決定したいと思います。

【継続審議】

5 その他

(1) 大月楽習塾、教員OBリレー講座の実施について

〔説明〕 安藤学校教育課長

大月楽習塾についてですが、家庭で学習に向き合えない子供達への支援として平日の放課後を利用して補修学習を行うもので、大月楽習サロンという名称で実施します。協力していただける教員OB、実施時間等は資料のとおりです。学校行事また、スクールバス等の調整の上、少ない学校で7回、最も多い学校で15回実施する予定となっています。

次にOBによるリレー講座ですが、教員OBの方々が持っている様々な経験財産を、現役教員に伝達し、支援、育成するためのものです。資料のとおり今年度3回の実施を予定しております。第1回目は7月3日(火)、鈴木英夫先生を講師に開催します。第2回は9月4日(火)で落合照美先生、第3回は11月13日(火)で小泉教育長にお願いしており、場所は教育会館です。

野尻委員

大月楽習塾のことですが、猿橋小学校に関わらせていただいております。下校は4時30分ですが、スクールバスが夏でも4時のため、実質指導できる時間は短くなってしまいます。取り組みとしては良いと思いますが、また新指導要領が改正されると、時間が取れなくなってしまうので、考えなければと思います。現在は、最大限時間をとっていただいている中で、少しでも役に立てば良いと思います。

【了知】

(2) 第58回大月市体育祭の結果報告について

〔説明〕 小林社会教育課長

5月27日(日)に開会式が行われまして、6月10日(日)に競技が終了しました。6月14日(木)に表彰式が行われ、優勝猿橋体育会、準優勝大月体育会、第3位富浜体育会となりました。人口減少に伴い、競技人口も減少している中ではありますが大勢参加していただき、事故もなく終了することが出来ました。

【了知】

(3) わいわい道中について

〔説明〕 小林社会教育課長

今年度は7月23、24日の(月・火)に桂川ウェルネスパークで実施します。工作教室、野菜収穫体験、バーベキューなどを予定しております。定員が40名となっておりますが、現在の申し込み人数は、20名となっております。

【了知】

(4) 教育課題など

〔説明〕 小泉教育長

1. 大月駅前英語体験活動について

6月22日（金）に締め切りになり、各小・中学校から、20名の子ども達の応募がありました。小学生が16名、中学生が4名、高校生はまだ、把握していませんが、高校生が加わり全部で25～6名位になるかと思えます。今後、子どもたちと保護者について具体的なスケジュールを伝える予定です。

2. 大月市教育支援センターの支援員配置について

来年度に開設する方向で整備できたら良いと思っています。具体的には、センターで学習と生活の両面を支援する支援員と、家庭訪問をとおして保護者や不登校の児童生徒と繋がる訪問支援員で最低2名の配置をお願いしたいと考えております。

3. ICT教育のための環境課題について

喫緊の課題であり、国はこの環境整備のために、平成26年度から平成29年度の4年間に単年度1,687億円を地方財政措置してきました。また、平成30年度から5年計画で、単年度1,805億円を地方交付税措置をしています。1校あたりに換算すると年度で563万円～599万円となります。以前、庄司委員がお話ししておりました、大月市のコンパクトな学校数を有効に活用し、ICT教育を充実していけば、大月市の教育の特色としてすばらしいものになるのではないかと思います。そのために環境整備が必要と思われれます。

4. 外国語科の導入について

今後ALTの人員配置や情報機器の整備も検討していかなければならないと思っております。

5. 都留高等学校と大月市の連携について

魅力あるまちづくりとともに、ふるさとを愛し未来を担う人材育成に寄与することを目的として、都留高等学校より、大月市と協定を結びたいとの依頼がありました。具体的には「都留高校探究プロジェクト」の取り組みへの協力であります。都留高校生が総合的な学習の時間で取り組んでいる『課題別探究プロジェクト』に関して生徒達が問題解決のために、大月市に対して資料の提供を求めたり、聞き取りを希望したりする時には協力をお願いしたい、また都留高校生に対して、大月市の歴史、文化、伝統、産業、生活や今後の施策等について、研究して欲しいというものがあれば提供していただきたい、との依頼がありました。ふるさと教育の趣旨からも前向きに取り組んでみたいと思っています。大月市との協定書なので企画財政課で対応していただくようお願いしております。

6. 置き勉強について

使用しない学習用具を教室に置いておく、置き勉強についてです。先日、NHKのニュースでも放送されていましたが、子どもたちのカバンが重いことが健康上また安全上の問題としてよくないことと指摘されています。欧米では子どもたちのカバンの重量は体重の10%を上限としています。日本では体重の30%の事例もあります。最近では、新聞やテレビでも話題になっておりますが、今後、新学習指導要領の実施に伴い、新しい学習内容が増え、教科書も厚くなり、総重量は今の約1.3倍になると言われています。大月市としても校長会と一緒に検討していく必要があると思います。

7. ブロック塀について

先日の大阪地震では、プールのブロック塀で子どもが犠牲となりましたが、山梨県から調査依頼がありまして、大月市の小中学校のブロック塀はどうか調査しました。安藤学校教育課長説明をお願いします。

〔説明〕 安藤学校教育課長

市内小中学校の敷地内のブロック塀について調査をしました。七保小学校と鳥沢小学校の2校にブロック塀の設置が確認されました。七保小学校については、校舎の裏側市道に面して裏門をはさんで両側に設置されています。長さは10m位、高さは1.5mほどです。鳥沢小学校につきましては、プールの更衣室の前、校庭に面して高さが1.4m位、長さが3m、人が通れる位少しあけて0.7m、さらに3mと三つにわかれて設置されております。七保小学校は控え壁がないため耐震基準をみたしていません。鳥沢小学校は幅が3mと短いため、3.4mの控え壁基準内ですので、建築基準に違反していません。七保小学校については違反しているため、早急な対応を検討していきたいと思います。通学路については、夏休み前に学校側で点検をし、秋に報告を受け調査していきたいと思います。

野尻委員

大月市はブロック塀は無いかと思っておりましたが、早急に対応していただきたいと思います。

安藤学校教育課長

後付で、控え壁を付けても意味がないので、撤去して新たに作るか、撤去したままとするか、どちらかになると思いますが、七保小学校裏の川側の方については転落防止のためにフェンス等が必要です。また、県道側は近隣住宅の目隠しの役目もあると思いますので、目隠しが必要になることも考えられます。

【了知】

7月27日（金）午前10時00分から、第4回大月市教育委員会定例会を開催することを確認。

6 閉会

【教育長閉会宣言】